

T

OCHIGI



10年のあゆみ

I

INTERNATIONAL

A

SSOCIATION

10

th ANNIVERSARY
1988-1998



財団法人栃木県国際交流協会

ごあいさつ



財団法人栃木県国際交流協会理事長

今井 聰彦

財団法人栃木県国際交流協会は、行政と民間が一体となって推進する国際交流の中核的な役割を担う組織として、昭和63年10月に設立されましたが、お蔭を持ちまして、ここに10周年を迎えることができました。

この間、世界は激しく動き、社会経済情勢も大きく変化する中で、本県におきましても、地域に生活する外国人が大幅に増加するなど地域の国際化が一段と進んできました。私ども協会は、設立の目的に則り、このような国際化の進展に対応すべく、外国人を含む県民の皆様への情報提供や相談事業をはじめ、諸外国との相互理解や友好交流を深めるための事業など、様々な国際交流・国際協力事業を実施してまいりました。そして、平成9年11月には、地域の国際交流・国際協力活動を推進するための拠点施設として整備された「とちぎ国際交流センター」に事務所を移しました。以来、このセンターは、在県外国人や県民の皆様との交流や情報交換、学習の場として、多くの方々に利用していただいております。

これもひとえに、県、市町村をはじめ、民間国際交流団体や出捐いただいている団体、賛助会員、ボランティアの方々など、多くの皆様からの多大なる御支援、御協力があったからこそと、心から深く感謝を申し上げます。

ここに、当協会が皆様とともに歩んで参りました10年間の活動の軌跡を振り返るとともに、今後の飛躍の糧とするため、「10年のあゆみ」を編纂いたしました。どうか御一読の上御鞭撻をいただければ幸いです。

このたびの10周年を機に、間近に控える21世紀に向けて、時代の変化に的確に対応した国際交流・国際協力活動を精一杯展開し、皆様から更に親しまれる協会となりますよう一丸となって努力してまいりまいる所存でありますので、今後とも、一層の御支援と御協力を賜りますようお願いを申し上げ、御挨拶いたします。

設立10周年によせて

会長 渡 辺 文 雄

創立10周年を迎えて

初代理事長 推 津 弘 之

協会の概要

概要	8
沿革	9
とちぎ国際交流センター	10

事業の概要（昭和63年度～平成9年度）

情報収集提供事業	16
広報出版事業	18
交流交歓事業	19
研修事業	26
翻訳支援事業	35
国際交流相談事業	36
ボランティアバンク運営事業	38
海外移住者援護事業	39
国際協力推進事業	43
友好交流事業	47
留学生支援事業	52
その他の事業	53

設立10周年によせて



財団法人栃木県国際交流協会会長
(栃木県知事)
渡 辺 文 雄

このたび、栃木県における地域レベルの国際交流を推進するための中核的な組織として、県内各界各層の皆様のご協力を得て設立された財団法人栃木県国際交流協会が、設立10周年を迎えました。これまで多方面から御支援、御協力をいただいた多くの関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

この10年間には、東西冷戦構造の終焉や世界経済のボーダレス化の進展など、国内外の情勢は大きく変化いたしました。人や物、そして情報などの流れも加速度を増す中で、県内に住む外国人の数も飛躍的に増加し、地域での日常生活においても、多方面で本格的な国際化が求められる時代を迎えております。

本県といたしましては、平成3年3月に「とちぎ新時代国際交流推進プラン」を、また、平成8年3月には、21世紀に向けた本県の国際化施策のあり方について体系化した「とちぎ新時代国際化プラン」を策定し、国際化の推進のための施策を展開してきたところであります。

今後とも「世界に開かれたとちぎづくり」に積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますが、本県が真に世界に開かれた地域社会となるためには、県や市町村の取組みはもとより、民間の方々の国際交流・国際協力活動が何よりも必要であります。

財団法人栃木県国際交流協会は、こうした民間の活動を支援する役割も担ってまいりましたが、平成9年11月に開館した「とちぎ国際交流センター」を活動の拠点として、今後も引き続き、本県における地域レベル、民間レベルの国際交流・国際協力活動の支援・推進に努めていかなければならないと考えており、また、こうした活動を通して、来るべき21世紀の活力ある地域社会の実現に寄与できるものと確信しております。

県民の皆様には、今後とも財団法人栃木県国際交流協会に対し一層の御支援、御鞭撻を賜りますようお願いを申し上げ、10周年に当たっての挨拶といたします。

創立10周年を迎えて



財団法人栃木県国際交流協会初代理事長

推 津 弘 之

昭和63年10月1日に財団法人栃木県国際交流協会が発足して、10年余の立派な歴史が積み重ねられました。まず心から関係者の皆様と共に御祝いを申し上げます。まさに10年という歳月は早いような気もいたしますが、私達の生活環境を取り巻く政治、経済、社会そして地域や家庭等の変化のめまぐるしさと、「まさか」という現象が多かったのには、びっくりしているところでもあります。

国際化、高齢化、情報化、環境問題等の流れはますます大きくなってまいります。特に国際情勢等も電腦時代を迎えてますますスピードを速め、広域化、多様化等という傾向を深めてきているようです。このような国際化時代の到来のなかで、県民一人ひとりが「地球家族の一員」として、世界の人々と様々な文化や価値観をお互いに認めあいながら自らの視野の拡大と発想の転換をはかり、豊かな国際感覚を身につけ、地域の国際交流活動を推進することはとても大切なことでもあります。そして、このことが本県の新たな地域文化の創造や地域の活性化にもつながってくるということから、これらを支援すべく、県国際交流協会が設立されたわけでもあります。

以来、協会は、国際交流に関する相談、情報収集・提供、学習、催事等の実施、民間活動の支援、そして国際交流推進センターとしての機能等を有する組織体として、その運営を効率的、弾力的に行うことを主眼に置きながら努力し、年々着実にその実績をあげてきたことは誠に御同慶にたえないところでもあります。

私も創立当初の理事長として基礎固めに努力してまいりましたが、幸いに変御理解のある渡辺知事や県当局および関係機関、関係団体、関係者のお力添えをいただきましたことは誠に有難く、感謝をいたしております。

また、この間、私を支えて下さった役員と事務局の皆様方の御協力にも御礼を申し上げます。そして、続く歴代の立派な方々の良き御指導と関係者の御努力等により、この「10年のあゆみ」にも詳述されているとおり多様な活動が展開され、また、事務所も改修オープンした「とちぎ国際交流センター」に移転するなど、名実ともに充実したものとなりましたことは大変心強いかぎりでもあります。

これまでの御苦勞に敬意と感謝の気持ちを捧げますとともに、今後とも情熱、責任感、先見性を持ち、人間性を大切にしながら更に精進されることを祈ります。

TOCHIGI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

10
1988-1998

協会の概要

概 要

名 称 財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association(TIA)

設 立 昭和63年10月1日

代 表 者 理事長 今井聰彦

所 在 地 栃木県宇都宮市本町9番14号 (〒320-0033)
とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777
028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
URL <http://www.pto.co.jp/tia/>
E-mail tia@olive.ocn.ne.jp

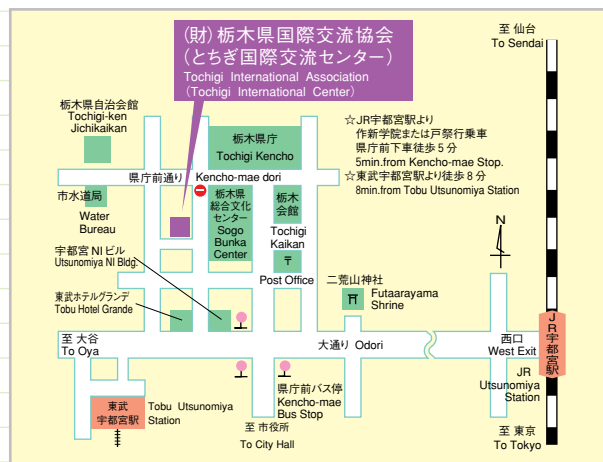
基本財産 289,079,656円 (平成10年4月1日現在)

目 的 海外移住の推進及び援助並びに国際協力活動及び国際交流活動を行い、もって諸外国との相互理解と友好親善に寄与することを目的とする。

- 事 業**
- 1 海外移住についての情報の収集及び啓蒙
 - 2 移住者及び移住者親族の福利厚生
 - 3 移住者子弟等の受入及び交流
 - 4 国際協力の推進
 - 5 国際交流についての総合的相談
 - 6 国際交流についての情報の収集、提供及び調査、研究
 - 7 国際交流についての研修
 - 8 国際交流についての催事
 - 9 民間国際交流活動の振興
 - 10 関係官庁及び団体との連絡調整及びこれらからの受託事務
 - 11 その他協会の目的を達成するために必要な事業

主務官庁 栃木県

業務時間 8:30~17:15 (日曜日、月曜日、祝日及び12月29日から1月3日は除く)



沿 革

- 昭和29年 3月26日 ● 財団法人栃木県海外協会設立
- 昭和61年 11月29日 ● 栃木県国際交流懇談会(昭和60年9月設置)から国際交流協会設置の提言
- 昭和62年 11月10日 ● 栃木県国際交流協会(仮称)設立検討委員会が設置され、幅広い視野で検討開始
- 昭和63年 4月1日 ● 栃木県県民生活部国際交流課に協会設立準備担当を配置
- 9月28日 ● 財団法人栃木県海外協会理事会において、国際交流協会設立に向けた寄附行為の変更等を了承
- 10月1日 ● 財団法人栃木県海外協会を改組拡充して財団法人栃木県国際交流協会を設立
- 初代理事長 推津弘之(前栃木県副知事)就任
- 事務所を栃木県自治会館(宇都宮市昭和1丁目2番16号)内に設置
- 平成元年 4月1日 ● 事務局に総務課、業務課を設置
- 11月27日 ● シンボルマークの決定
- 平成2年 1月23日 ● 栃木県における地域国際化協会として自治大臣から認定
- 平成4年 7月1日 ● 第2代理事長 田島一郎(前栃木県副知事)就任
- 平成6年 8月1日 ● 特定公益増進法人として栃木県知事から認定
- 平成7年 4月1日 ● 総務課を総務企画課に改組
- 平成8年 7月1日 ● 第3代理事長 大江敏夫(前栃木県副知事)就任
- 平成9年 11月10日 ● とちぎ国際交流センター開設に伴い、事務所を同センター(宇都宮市本町9番14号)内に移転
- 平成10年 4月1日 ● 第4代理事長 今井聰彦(前栃木県総合文化センター理事長)就任
- 業務日を火曜日から土曜日までに変更(従来は月曜日から金曜日まで)

(財) 栃木県国際交流協会設立の趣意について

近年における国際化の発展に伴い、世界の国々と我が国との人、物、技術などの交流は著しく深まり、今後その交流は更に拡大していくものと予想されています。

本県においても、現在約50か国4,300人余の外国人が在住し、昭和62年には、海外への渡航者は7万人を越え、海外からは約20万人の外国人が訪れるなど、その数は年々増加の傾向にあります。こうした中で、民間や県・市町村等においては経済をはじめ、文化、教育、スポーツ、技術等、あらゆる分野で幅広い国際交流活動が展開されつつあり、今後とも国際理解への深まり、国際親善の絆がますます強まるものと考えられます。

このような国際化の時代の中で、県民一人ひとりが「地球家族の一員」として世界の人々と様々な文化・価値観を相互に認め合いながら、自らの視野の拡大と発想の転換を図り、豊かな国際感覚を身につけ、地域の国際交流活動を推進する必要があります。ひいては、このことが本県の新たな地域文化の創造、地域の活性化につながるものと考えます。

このためには、県民一人ひとりの国際交流に関する様々な相談について総合的、専門的に応じることのできる体制、国際交流活動に必要な各種サービスや情報を体系的に提供できる体制を新たに整備し、県民主体の交流活動を活性化させる環境づくりが求められています。

そこで、国際交流に関しての

1. 相談センターとしての機能
2. 情報センターとしての機能
3. 学習センターとしての機能
4. 行事・催事の実施センターとしての機能
5. 民間活動支援センターとしての機能
6. 国際協力推進センターとしての機能

などを有する組織を設置し、その運営を効率的かつ柔軟に行うため、企業、民間団体、学術研究機関をはじめ、県・市町村が相互に連携して、広く県民の英知を結集することが肝要であると考えております。

このような認識のもとに、このたび、21世紀に向けた本県の新たな飛躍をめざし、地域の国際交流活動を支援する中核的な役割を担う組織として、公益性、安定性を具備した民間と行政の共同出捐による財団法人栃木県国際交流協会を設立するものであります。

なお、設立に当たりましては、財団法人栃木県海外協会を発展的に改組することにより対応いたしました。

シンボルマーク



県民から537点の応募があり、野口喜美子さん(壬生町)の作品がシンボルマークとして採用された。

栃木県の頭文字Tをアレンジしたもので、鳥が美しい地球を背負って飛ぶ姿を通して、人々が世界(未来)に大きくはばたくように、そして、世界の人々との交流・連帯が末永く続くようにとの願いを込めたものである。

とちぎ国際交流センター



本県の一層の国際化を推進するために栃木県が整備を進めていた「とちぎ国際交流センター」が、平成9年11月10日にオープンした。

このセンターは、国際性豊かな人づくり、外国人にも住みやすい地域づくり、外国人との交流の活発化、国際交流・国際協力活動の推進・支援等を行うための様々な機能を備えた拠点施設として整備したものである。

施設概要

名 称 とちぎ国際交流センター
Tochigi International Center

所 在 地 栃木県宇都宮市本町9番14号

所 有 者 栃木県

管理・運営 財団法人栃木県国際交流協会

敷地面積 1,577.08㎡
建築面積 652.83㎡
延床面積 1,332.56㎡
駐車場 24台

1階

相談コーナー	38.88㎡
相談室A(個室)	8.64㎡
企画展示室	60.48㎡
交流ラウンジ	114.48㎡
図書閲覧室	51.84㎡
事務室(財団法人栃木県国際交流協会)	99.72㎡
理事長室	38.52㎡

2階

友好交流室	52.56㎡
研修室(収容54名)	105.12㎡
多目的ホール(収容84名)	133.92㎡
相談室B(会議室として使用の場合 収容18名)	33.83㎡
相談室C(会議室として使用の場合 収容18名)	35.59㎡
会議室(収容36名)	54.00㎡

3階

(文化体験室)和室A・B、調理室	108.24㎡
------------------	---------

1F



●企画展示室

外国文化、国際交流・国際協力活動等の展示・紹介に利用。栃木県の友好交流先である中国・浙江省とフランス・ヴォークリューズ県を紹介する常設コーナーも併設。



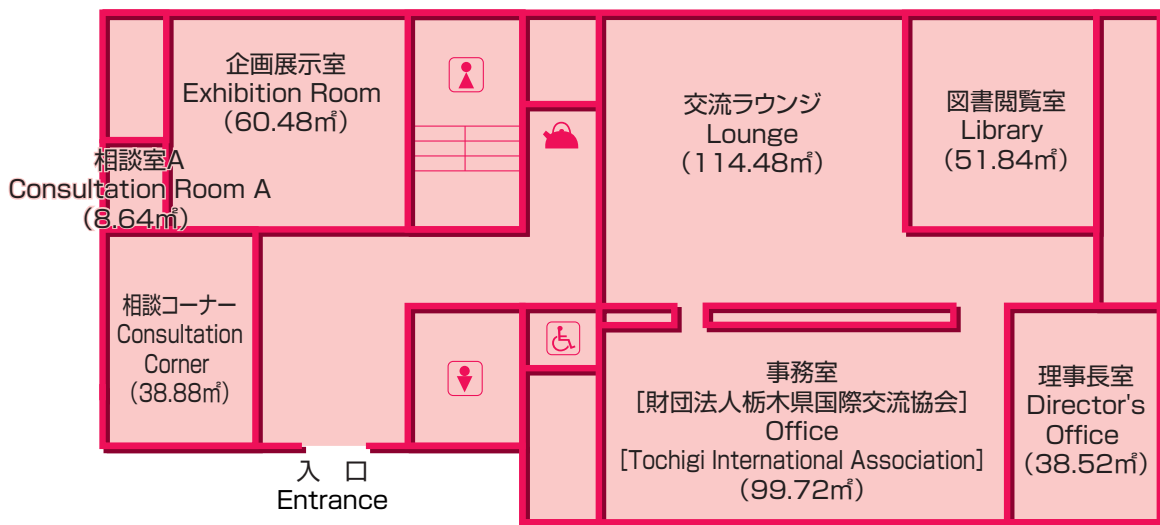
●交流ラウンジ

県民や外国人の交流の場。ケーブルテレビや県内市町村紹介コーナーも併設。



●インターネットコーナー

インターネットやCD-ROMでの情報収集コーナー。



●相談コーナー

県民や外国人からの相談を受けたり、情報提供を行うコーナー。



●相談室A

相談を受けるための個室。



●図書閲覧室

書籍・ビデオ等の閲覧室（館外貸出可）。ビデオ、世界対応ビデオ、ケーブルテレビ、文字放送、DVD・LD・CD、カセットが使用できるマルチメディアコーナーも併設。

2F



●多目的ホール

講演会、セミナー、シンポジウム、ミニコンサート、ビデオ上映等のイベントに利用(84名収容)。



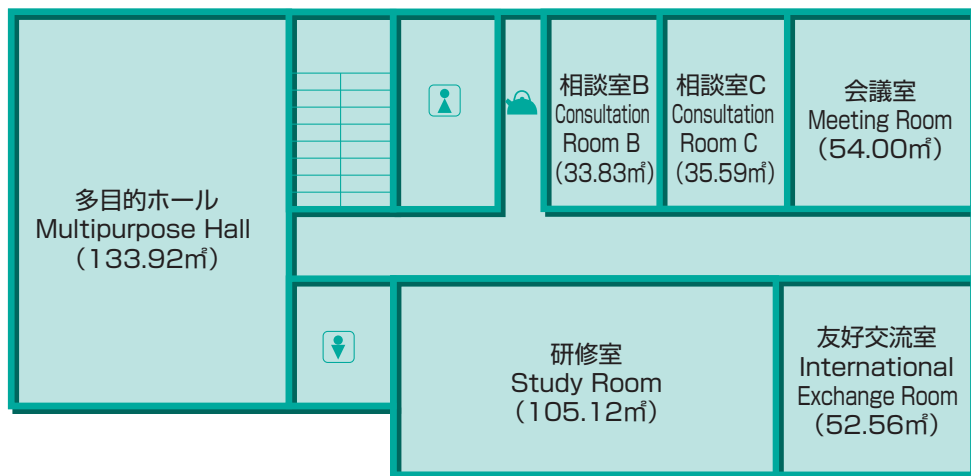
●相談室B・C

法律相談や相談員による定例相談に使用。会議室としても利用(各18名収容)。



●会議室

各種会議、ミーティング、打合せ等に利用(36名収容)。



●研修室

語学研修、各種講座、ミニイベント等に利用(54名収容)。



●友好交流室

栃木県と友好交流を行っている諸外国からの訪問者の応接等に使用。

3F

文化体験室



●調理室
世界の料理講座等に利用。



●和室A・B
茶道・華道等、日本の伝統文化の講座や体験に利用。



TOCHIGI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

10
1988-1998

事業の概要

昭和63年度
～平成9年度

情報収集 提供事業

●情報収集提供 ●図書閲覧室整備 ●外国人ネットワーク ●企画展示室展示

情報収集提供

県内外の情報収集を行うとともに、インターネット等のマルチメディアを利用して多岐にわたる最新情報を入手し、県民等に提供した。

■海外安全ネットワーク

パソコン通信による海外渡航情報等の提供
(平成2年度から)



海外安全ネットワーク情報掲示板

■メッセージ（イフォメ-ヨシ）ボード

協会内に来館者のための情報交換板を設置
(平成2年度から)

■ニッポンネット

パソコン通信による国際交流情報等の提供
(平成6年度から)



ホームページ

■ホームページ

インターネットによる協会情報の提供
(平成8年度から)

■インターネットコーナー

交流ラウンジに設置し、来館者に開放
(平成9年度から)



インターネットコーナー

■マルチメディアコーナー

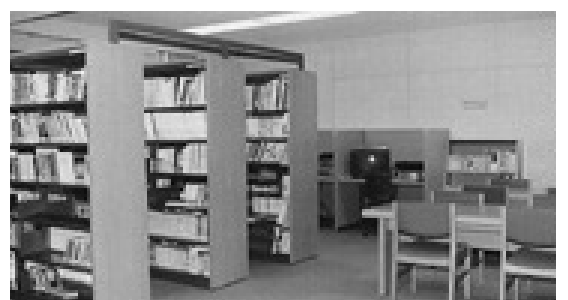
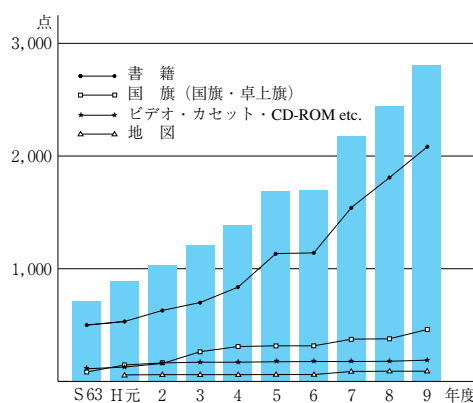
図書閲覧室に設置し、来館者に開放
(平成9年度から)



マルチメディアコーナー

書籍、ビデオテープ、CD-ROM、国旗等を整備し、閲覧及び貸出しを行った。

図書閲覧室蔵書等の推移



図書閲覧室

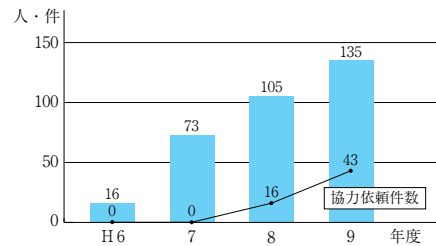
図書閲覧室整備



外国人 ネットワーク

特技等を持つ在県外国人に「とちぎコミュニケーションネットワーク（TCN）」に登録していただき、各種情報を提供するとともに、国際交流事業等に協力していただいた。
（平成6年度から）

とちぎコミュニケーションネットワーク 登録者数と協力依頼件数の推移



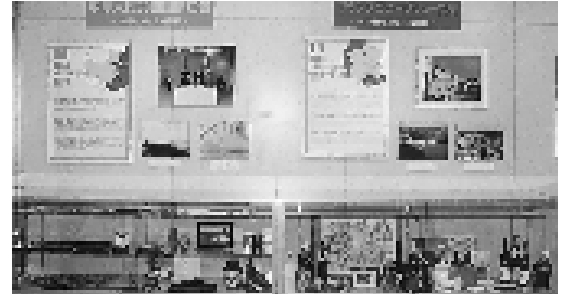
TCNの集い

企画展示室展示

センター内に企画展示室を整備し、常設コーナーを設置するとともに、企画展を実施した。
（平成9年度から）

■ 常設コーナー

栃木県の国際化事業や栃木県の友好交流先である中国浙江省及びフランス・ヴォークリューズ県の紹介コーナー。



常設コーナー

■ 企画展

協会独自の企画展や国際交流団体のパネル展の開催等。

■ 世界が見える写真展

（平成9年11月）

とちぎ国際交流センター開設を記念し、世界の人々の姿や交流の様子などを撮影した写真を公募し、入選作品22点を展示した。



世界が見える写真展

■ 中国浙江省展

（平成9年11～12月）

■ 青年海外協力隊・JICA専門家パネル展

（平成10年1～2月）

■ フランス・ヴォークリューズ展

（平成10年3月）



中国浙江省展

広報 出版事業

●機関紙 ●外国人向け印刷物 ●国際交流関係印刷物

機関紙

協会機関紙「T I Aニュース やあ！」(平成7年3月号までは「とちぎ国際交流」)を発行した。

(仕様) A4版(8ページ)
日本語(一部英語併記)
(発行部数) 3,500部
(発行) 年6回(平成元年度までは年4回)



在県外国人のための生活ガイド等を作成した。

外国人 向け印刷物

平成元年度 ~ 平成4年度 **栃木県に住む外国人のための生活案内書**
(仕様) 日本語併記

英語版(平成元年度)
中国語版(平成2年度)
スペイン語版(平成3年度)
ポルトガル語版(平成4年度)

(発行部数) 各2,000部



平成8年度 **外国人のための栃木県地図**
ローマ字・日本語併記 1,300部

平成9年度 **知って得するガイド**
「栃木県に住む外国人のための生活案内書」に代わる生活案内書として作成。
日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語併記 10,000部



国際交流関係 印刷物

国際交流・国際協力活動をバックアップする印刷物を作成した。

昭和63年度 **国際交流団体名簿** 500部

平成3年度 **国際交流Q&A** 1,500部
国際交流団体名簿 500部

平成6年度 **ホームステイの手引き** 2,000部

平成7年度 **国際交流団体ダイレクター** 1,000部

平成8年度 **国際交流相談ガイド** 600部



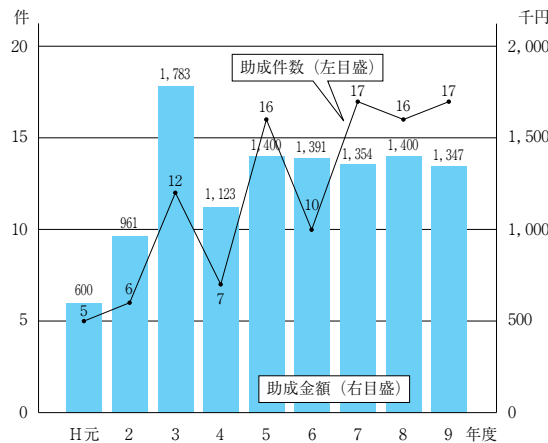
交流 交歓事業

●民間交流交歓事業助成

民間交流交歓 事業助成

県内の国際交流団体や国際交流団体で組織する実行委員会が、当協会との共催で行う交流イベント、出版、研修講座等の国際交流・国際協力事業に対して、20万円を上限として助成した。(平成元年度から)

民間交流交歓事業への助成件数と助成金額の推移



■ 民間交流交歓事業助成団体 (平成元～9年度) ■

- | | |
|-----------------|------------------|
| 足利市国際交流協会 | 栃木経済交友会 |
| 足利ユネスコ協会 | 栃木市日中友好協会 |
| アジア学院 | 栃木県高等学校国際教育研究協議会 |
| いっくら国際文化交流会 | 栃木県国際教育研究所 |
| 今海市国際交流協会 | 栃木県青年海外協力隊OB会 |
| 氏家町国際交流協会 | 栃木県青年国際交流機構 |
| 宇都宮国際文化協会 (UIC) | 栃木県地域留学生交流推進協議会 |
| 宇都宮ユネスコ協会 | 栃木県日韓親善協会 |
| 大田原国際交流会 | 栃木県日韓女性親善協会 |
| 大平町日中友好協会 | 栃木県婦人教育推進連絡協議会 |
| 小山国際交流会 | 栃木県ユネスコ連絡協議会 |
| 小山ユネスコ協会 | 栃木市国際交流協会 |
| 開発教育ネットワーク | 栃木タイムズ |
| 鹿沼市国際交流協会 | 栃木ユネスコ協会 |
| グローバル・グループ | (財)とちぎYMCA |
| 交流会「仲間」 | 日本ユーラシア協会栃木県支部 |
| 国際交流たみの会 | 馬頭町国際交流会 |
| 佐野市国際交流協会 | メキシコ民族舞踊開催実行委員会 |
| 佐野ユネスコ協会 | 真岡市海外友好協会 |
| 田沼町国際交流協会 | ラボ国際交流センター |

国際交流・
国際協力活動支援

国際交流団体等が実施する事業に対して、後援（共催）、参加協力等を行った。

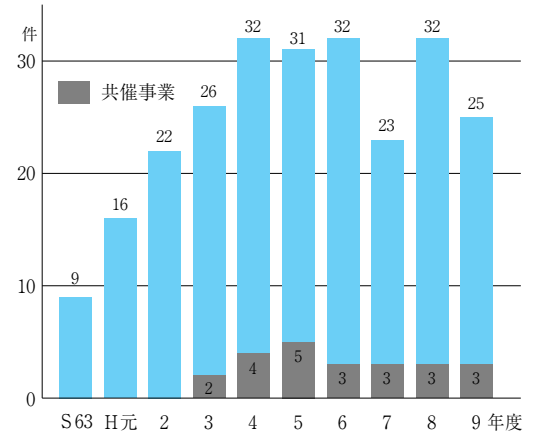
(参加協力)

- 「マレーシア青年との交流の旅（栃木県青年会館）」に通訳として職員（1名）を派遣（平成元年度）
- 「1990年度青年招へい事業アフターケア調査チーム（国際協力事業団）」に職員（1名）を派遣（平成2年度）
- 「農業後継者青年の国際交流体験研修（栃木県農業協同組合中央会）」に職員（1名）随行（平成3年度）
- 「21世紀のための友情計画（外国青年招へい事業実行委員会）」等の実行委員会に参加（平成3年度から平成8年度まで）

日本の伝統行事の「お正月」を通じ、県民と在県外国人との相互理解・友好交流のための催しを行った。（平成元年度から）

- (内 容) 餅つき、着付け、茶の湯、琴、生け花、書き初め、正月の遊びなど
(会 場) ニューみくら（宇都宮市）

後援（共催）件数の推移



お正月の集い

年 度	日	時	参加者数（内外国人数）
元	平成2年1月13日（土）	12:00～16:00	333人(92人)
2	平成3年1月12日（土）	13:00～16:00	500人(130人)
3	平成4年1月11日（土）	13:00～16:00	600人(200人)
4	平成5年1月9日（土）	13:00～16:00	800人(300人)





アジアの夕べ

外国文化への理解と関心を深めてもらうため、身近なアジア諸国の民族芸能や料理等を紹介した。(平成元年度から)

- 平成元年度** (対象国) タイ
(日 時) 8月23日(水) 18:00~21:00
(会 場) 栃木会館(宇都宮市)
(内 容) 映画「ナンプーは死んだ」、
アジア留学生スピーチ、パネル展
(共 催) 国際交流基金
(参加者) 500名
- 平成2年度** (対象国) インド
(日 時) 8月28日(火) 18:00~20:30
(会 場) 佐野市文化会館(佐野市)
(内 容) 映画、民族舞踊、民族音楽、民芸品展示、
パネル展
(共 催) 栃木県インドカシ米尔友好協会
(参加者) 250名
- 平成3年度** (対象国) インドネシア
(日 時) 8月24日(土) 16:00~20:00
(会 場) 西那須野町民ホール(西那須野町)
(内 容) 民族舞踊、影絵芝居、ファッションショー、
合唱、料理、民芸品展示など
(共 催) 大田原国際交流会、アジア学院後援会
(参加者) 500名
- 平成4年度** (対象国) 韓国
(日 時) 8月29日(土) 16:00~20:00
(会 場) 鹿沼市民文化センター(鹿沼市)
(内 容) 民族音楽、留学生スピーチ、合唱、
料理、民芸品展示、物産展など
(共 催) 鹿沼市国際交流協会、栃木県日韓親善協会、
栃木県日・韓女性親善協会、在日大韓民国居留民団栃木県本部
(参加者) 500名
- 平成5年度** (対象国) フィリピン
(日 時) 11月21日(日) 14:00~17:00
(会 場) 石橋勤労者体育センター(石橋町)
(内 容) 民族舞踊、民族音楽、ファッションショー、
合唱、料理、民芸品展示など
(共 催) 石橋町国際交流協会
(参加者) 500名

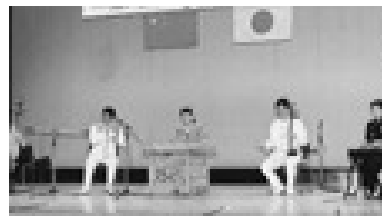


アフリカン・ミュージック・
フェスティバル
～タンザニアの夕べ～

食文化体験
交流会

平成6年度

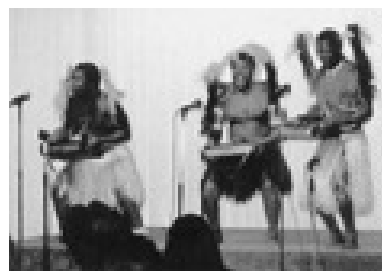
(対象国) 中国
(日 時) 9月11日(日) 14:00～17:00
(会 場) 田沼町中央公民館(田沼町)
(内 容) 民族舞踊、民族音楽、雑技、太極拳、
合唱、料理、民芸品展示など
(共 催) 田沼町国際交流協会
(参加者) 1,000名



伝統民族音楽演奏者を招き、アフリカ音楽の演奏会を開催した。

平成2年度

(日 時) 5月30日(水) 19:00～20:30
(会 場) コンセーレ(宇都宮市)
(共 催) 東邦生命保険相互会社宇都宮支社
(参加者) 400名



外国料理を通じ、異文化理解を図るとともに、外国人との交流交歓を深めた。

平成3年度

「タンザニア料理教室」
(日 程) 10月25日(金)～27日(日)
(場 所) 南那須町・壬生町・鹿沼市
(講 師) 駐日タンザニア大使夫人 ヌ・ワンドゥ氏

平成4年度

「食の楽園 プロヴァンス料理の夕べ」
(日 時) 5月9日(土) 19:00～
(会 場) オーベルジュ・デ・マロニエ(宇都宮市)
(講 師) クリスティアン・エティエンヌ氏
(参加者) 100名



「タンザニア料理教室」
(日 程) 8月28日(金)～30日(日)
(場 所) 氏家町・黒羽町・田沼町
(講 師) 駐日タンザニア大使夫人 ヌ・ワンドゥ氏

平成6年度

「メキシコ料理講習会」
(日 程) 7月21日(木)～22日(金)
(場 所) 南那須町・栃木市
(講 師) 駐日メキシコ大使秘書 コンセプション・バスケス氏



平成8年度

「タンザニア料理講習会」
(日 程) 8月9日(金)～10日(土)
(場 所) 栃木市・小山市
(講 師) 駐日タンザニア大使夫人 テオピスタ・チアロ氏



とちぎ
 インターナショナル
 フェスティバル

地域の国際交流活動の一層の推進を図るため、国際交流団体等の協力により、多彩な交流交歓のフェスティバルを開催した。(平成2年度から)

- (内 容) テント内でのパネル展、民芸品・料理・民族舞踊等の外国文化紹介、日本文化紹介など
- (会 場) あけぼの公園 (宇都宮市)
- (共 催) 国際協力事業団関東支部
 (財)自治体国際化協会 (平成6年度)



年 度	日 時	参加者数 (内外国人数)
2	11月3日(土) 10:00~15:00	3,000人(700人)
3	10月6日(日) 10:00~15:00	4,000人(1,300人)
4	11月8日(日) 10:00~15:00	7,000人(2,100人)
5	9月26日(日) 10:00~15:00	9,800人(3,000人)
6	10月30日(日) 10:00~15:00	10,000人(3,000人)
7	11月23日(祝) 10:00~15:00	11,000人(4,000人)
8	10月27日(日) 10:00~15:00	12,000人(4,000人)
9	9月21日(日) 10:00~15:00	10,000人(4,000人)



●民間国際交流団体紹介●外国文化体験講座～世界と遊ぼう～

■ とちぎインターナショナルフェスティバル協力団体（平成2～9年度） ■

(財) あしぎん国際交流財団
 準学校法人アジア学院
 アジアの問題を考える会
 いっくら国際文化交流会
 宇都宮SGGクラブ
 宇都宮国際文化協会(UIC)
 宇都宮市立宮の原小学校
 宇都宮市立宮の原中学校
 宇都宮市立築瀬小学校
 (社) 宇都宮青年会議所
 宇都宮貯金事務センター
 宇都宮バハイ共同体
 宇都宮ユネスコ協会
 (財) AFS日本協会栃木県支部
 エクパットグループ 栃木
 大田原国際交流会
 大平町日中友好協会
 小山国際交流会おいふあ
 喜連川日中友好協会
 喜連川町国際交流協会
 グローバル・グループ
 けんちんの会
 交流会「仲間」
 国際交流たみの会

国際バガサの会
 (財) 産業雇用安定センター栃木事務所
 JET SETTERS
 装道分院半田きもの学院
 栃木インターナショナルライフライン(TILL)
 栃木インドネシア友好協会
 栃木県海外移住家族会
 栃木県経済同友会
 (財) 栃木県青年会館
 栃木県青年海外協力隊OB会
 栃木県赤十字文化奉仕団
 栃木県JICA専門家連絡会
 栃木県地域留学生交流推進協議会
 栃木県日・韓女性親善協会
 栃木県ブラジル友好協会
 栃木フィリピン人協会
 (財) とちぎYMCA
 馬頭町国際交流会
 ヒッポファミリークラブ
 FICAP 栃木県支部
 フォスター・ペアレント宇都宮周辺の会
 南那須町国際交流協会
 UKII (宇都宮国際交流会)
 (財) ラボ国際交流センター栃木地域会

民間国際交流 団体紹介

とちぎ国際交流センター開設を記念し、パネル展示、外国の料理、民族舞踊等を通して団体の活動や内外の文化を紹介した。

平成9年度 (日 時) 11月14日(金)～15日(土)
 (会 場) とちぎ国際交流センター
 (宇都宮市)
 (参加団体) アジアの問題を考える会
 いっくら国際文化交流会
 交流会「仲間」
 栃木県赤十字文化奉仕団
 栃木県日・韓女性親善協会
 栃木フィリピン人協会
 日中アド・ワールド





外国文化体験講座
～世界と遊ぼう～

外国の料理づくりや遊びなどを通して、
外国文化を体験し異文化・異風土への理解
を深めていただいた。

- 平成9年度 (日 時) 平成10年2月1日(日)
(会 場) とちぎ国際交流センター
(宇都宮市)
(内 容) モロッコの料理、
米国・ブラジル・ボリビア・
フランス・ニュージーランド・
中国の歌、踊り、クイズ、
ゲームなど
(参加者) 70名



研修事業

●協会設立記念シンポジウム ●協会設立記念講演会 ●国際交流教養講座

協会設立記念 シンポジウム

昭和63年度

「とちぎとアジア諸国の国際交流
～こころのふれあう交流を求めて～」

平成元年2月17日（木） 栃木県青年会館
（宇都宮市）

基調講演「アジアの時代と日本の役割」
（講師）東京工業大学教授 渡辺利夫氏

パネルディスカッション

「とちぎとアジア諸国の国際交流」

（コーディネーター）(株)栃木放送代表取締役社長
（パネリスト） 外務省国内広報課長

栃木県県民生活部長

シンガー日鋼(株)専務取締役

栃木県日・韓女性親善協会会長代行

婦人海外研修N G Oフォーラム参加団長

アジアの問題を考える会代表

アジア学院長

宇都宮市市長公室長

いっくら国際文化交流会会長

栃木インドネシア友好会の会長

（参加者）

140名



福嶋寿克氏
石橋太郎氏
今井聰彦氏
大和弘巳氏
青木和子氏
鈴木清子氏
泉田スジダ氏
高見敏弘氏
田崎義久氏
長門芳子氏
増山瑞比古氏



昭和63年度

「郷土（ふるさと）から見た世界」

平成元年3月18日（水）
宇都宮ロイヤルホテル（宇都宮市）

（講師）作家 立松和平氏

（参加者）130名



協会設立記念 講演会



国際交流教養 講座

国際的視野を持った県内外の著名人等を講師に招き、講演会やシンポジウム等を開催した。

昭和63年度 「アメリカ生活17年の随感 ～これからの日米関係と日本の役割～」

平成元年1月12日（木） 栃木県自治会館（宇都宮市）
（講師）MIGA（多数国間投資保証機関）長官 寺澤芳男氏
（参加者）230名



平成元年度 「オーストラリア横断～駱駝（らくだ）で 半年間の旅～」

7月14日（金） 栃木県自治会館（宇都宮市）
（講師）パット・ザイサート氏
（科学者／神戸在住アメリカ人）
（参加者）96名



「地域の国際化と文化の創造」

平成2年3月3日（土） 栃木県自治会館
（宇都宮市）
（講師）大阪大学人間科学部教授 青木 保氏
（参加者）80名



平成2年度 「すてきに反論されて」 自作朗読会

4月24日（火） 栃木県自治会館（宇都宮市）
（講師）ドイツ女流作家
ヨハンナ・バルザー氏
（共催）とちぎ日独協会
（参加者）80名



「国際化のために～個性値ある人材を～」

平成3年2月26日（火） 栃木県自治会館
（宇都宮市）
（講師）亜細亜大学学長 衛藤瀧吉氏
（共催）国際交流基金
（参加者）150名



●国際交流教養講座

平成3年度

協会設立3周年記念シンポジウム 「交流から共存への道を考える」

10月22日（火） プラザイン・くろかみ（宇都宮市）

基調講演「国際交流から国際共存への道を考える」
（講師）早稲田大学助教授 吉村作治氏



パネルディスカッション

（コーディネーター）前外務省国内広報課企画官

（パネリスト）国際協力事業団企画部長

白鷗大学教授

小山国際交流会会長

栃木県経済同友会国際問題委員会委員長

陶芸家（在県ポルトガル人）

ジョゼ・ファロンバ氏

内田 功氏

河合正男氏

石倉洋子氏

茂呂邦子氏

板橋敏雄氏

（共 催）

外務省、国際協力事業団

（参加者）

150名



「国際交流とプロトコール」

平成4年2月25日（火） 栃木県自治会館
（宇都宮市）

（講師）外務省儀典官室事務官 白山明子氏
（参加者）200名



平成4年度

「とちぎジュニアサミット～私の目から見た国際交流～」

11月28日（土） 栃木会館（宇都宮市）

（コーディネーター）国際協力事業団広報課課長代理
（意見発表者）宇都宮市立陽北中学校

矢板市立片岡中学校

西方村立西方中学校

西那須野町立西那須野中学校

茂木町立茂木中学校

馬頭町立馬頭東中学校

小山市立美田中学校

佐野市立北中学校

山本愛一郎 氏

久保井玲子さん

小林 俊 雅くん

早乙女 猛くん

小山田友美さん

小瀬真木子さん

齋藤 樹里さん

青木 裕美さん

荒井 宏美さん

（共 催）

国際協力事業団

（参加者）

100名





平成6年度 「アメリカの教育と日本の教育の違いについて」

7月21日(木) プラザイン・くろかみ(宇都宮市)
(講師) アメリカワシントン州ベルビュー公立高等学校教諭 エツコ・ショルツ氏
(参加者) 100名



平成7年度 シンポジウム「地域でできる国際協力・国際貢献」

11月10日(金) プラザイン・くろかみ(宇都宮市)
基調講演「地域でできる国際協力・国際貢献」
(講師) 国際協力事業団理事 小澤大二氏



パネルディスカッション 「身近にできる国際協力ってなんだろう？」
(コーディネーター) アジア学院那須セミナーハウス主事 安井武雄氏
(パネリスト) 栃木県青年海外協力隊OB会会長 岡村真司氏
栃木インターナショナルライフライン事務局 大浦智子氏
帰国子女教育関係者(在県日系ブラジル人) 中島里美氏
会社社長(在県パキスタン人) アクバル・アバス・アリ氏
(共催) 国際協力事業団
(参加者) 80名

平成8年度 国際協力こつこつセミナー

10月17日～11月14日(毎週木曜日)
プラザイン・くろかみ(宇都宮市)
(共催) 国際協力事業団関東支部
(参加者) 68名



[第1回/10月17日]
「政府開発援助について」
(講師) 国際協力事業団派遣事業部付 梅谷重夫氏
「地域における今後の活動」
(講師) (財)栃木県国際交流協会事務局長 石塚良行



[第2回/10月24日]
ミニシンポジウム「外国人の考える身近な国際交流」
(コーディネーター) (財)栃木県国際交流協会事務局長 石塚良行
(パネリスト) 在県パキスタン人 アクバル・アバス・アリ氏
在県韓国人 朴 恵淑氏
在県ブラジル人 中島里美氏
在県アメリカ人 マシュー・フレイリー氏
在県タイ人 ポンサン・ワヤブットリー氏



〔第3回／10月31日〕

ミニシンポジウム「海外で行われている国際協力」

(コーディネーター) 国際協力事業団関東支部支部長代理 大能雄一氏
 (パネリスト) JICA帰国専門家 安藤泰正氏
 JICA帰国専門家 天尾 潔氏
 青年海外協力隊OG 九鬼紀子氏
 青年海外協力隊OB 田邊知成氏



〔第4回／11月7日〕

ミニシンポジウム 「地元でこつこつやる方法」

(コーディネーター) (財) 栃木県国際交流協会事務局長
 (パネリスト) アジアの問題を考える会
 グローバル・グループ
 交流会「仲間」
 栃木インターナショナルライフライン
 交流グループ フレあい



石塚良行
 中村千恵子氏
 星野洋子氏
 福田静江氏
 志田正彦氏
 手塚美保子氏

〔第5回／11月14日〕

「在日外国人の医療とカウンセリングの現状」

(講師) 栃木県精神保健福祉センター所長 大西 守氏



「外国人をとりまく医療制度の問題点」

(講師) 栃木インターナショナルライフライン
 代表 根本佳和氏



平成9年度

とちぎ国際交流センター開設記念
 国際化フォーラム「外交の窓 in とちぎ」

11月10日(月) 栃木県総合文化センター(宇都宮市)

基調講演「アジアの中の日本の顔」

(講師) 外務省経済局総務参事官 近藤誠一氏



パネルディスカッション「聞くアジア」

(コーディネーター) 外務省国内広報課企画官
 (パネリスト) アジア女性資料センター代表
 宇都宮大学国際学部教授
 準学校法人アジア学院校長
 会社社長(在県パキスタン人) アクバル・アバス・アリ氏

三木達也氏
 松井やより氏
 田所竹彦氏
 植田仁太郎氏

(共催) 外務省、栃木県
 (参加者) 350名



国際交流団体 連絡会議

民間国際交流団体との連携や情報交換等を目的とした連絡会議を、各年度1～2回開催した。



市町国際交流 協会連絡会議

市町国際交流協会との連携や情報交換等を目的とした連絡会議を、各年度1～2回開催した。(平成3年度から)



日本語講座

在県外国人に日本語学習の機会を提供するとともに、外国人同士の交流の場ともなるよう、次のとおり開催した。(平成元年度から)

(開催日) 毎週水曜日 18:00～20:00

(会場) 協会研修室

(講師) 日本語教師 鈴木清子氏

日本語教師 牧野和枝氏 (平成元年度②)

(共催) 栃木市 (平成元年度②)、小山市 (平成3年度②)



年度	期	間	受講者数	備 考
元	①	11月～3月 (12回)	21	①18:00～19:30 ②18:00～19:30栃木市役所で開催
	②	11月～3月 (12回)	18	
2	①	5月～8月 (12回)	12	
	②	9月～11月 (12回)	11	
	③	12月～3月 (12回)	5	
3	①	4月～7月 (12回)	42	②小山市役所で開催 ④10:00～12:00 (毎週火曜日)
	②	7月～9月 (12回)	16	
	③	10月～12月 (12回)	27	
	④	1月～3月 (12回)	9	
4	①	4月～7月 (16回)	24	
	②	8月～12月 (16回)	40	
	③	12月～3月 (15回)	27	
5	①	4月～7月 (16回)	27	
	②	8月～12月 (16回)	41	
	③	12月～3月 (16回)	6	
6	①	4月～7月 (16回)	17	③ (中級)
	②	8月～11月 (16回)	40	
	③	11月～3月 (16回)	35	
7	①	4月～7月 (16回)	39	③ (中級)
	②	8月～11月 (16回)	31	
	③	11月～3月 (16回)	27	
8	①	4月～7月 (16回)	28	③ (中級)
	②	8月～11月 (16回)	40	
	③	11月～3月 (16回)	37	
9	①	4月～10月 (25回)	41	② (中級) とちぎ国際交流センターで開催
	②	11月～3月 (18回)	53	

●外国語講座●青少年国際交流員海外留学派遣●職員海外研修



県民を対象に市町国際交流協会等との共催により外国語講座を開催した。(平成元年度から)



〔英会話講座〕

- (講 師) 英語指導助手(AET) デビン・ケルソー氏 (平成元年度)
 協会国際交流相談員 高嶋仙子 (平成元年度から)
 協会国際交流相談員 林 恵子 (平成3年度から)
- (共 催) 鹿沼市国際交流協会 (平成元年度)
 栃木市国際交流協会 (平成2、5年度)
 田沼町国際交流協会 (平成3年度)
 石橋町国際交流協会 (平成4年度)

年度	期 間	受講者数	会 場
元	8月～9月 (8回) 毎週月曜日 19:00～20:30	4 3	鹿沼市民文化センター
2	7月～10月 (16回) 毎週水曜日 19:00～20:30	6 3	栃木市役所会議室
3	7月～10月 (16回) 毎週水曜日 19:00～20:30	2 6	田沼町役場会議室
4	7月～10月 (16回) 毎週水曜日 19:00～20:30	3 0	石橋町中央公民館
5	11月～3月 (16回) 毎週木曜日 18:30～20:00	3 2	栃木市勤労者総合福祉センター

〔中国語講座〕

- (講 師) 協会インタープリターバンク登録者 呂 沂錚氏 (平成元年度)
 協会インタープリターバンク登録者 李 建欄氏 (平成2、3年度)
 協会インタープリターバンク登録者 戴 為智氏 (平成4年度)
 鹿沼市国際交流協会ボランティア 吉田和子氏 (平成5年度)
- (共 催) 氏家町国際交流協会 (平成元年度)
 南那須町国際交流協会 (平成2年度)
 鹿沼市国際交流協会 (平成3年度)
 真岡市海外友好協会 (平成4年度)
 佐野市国際交流協会 (平成5年度)

年度	期 間	受講者数	会 場
元	8月～9月 (8回) 毎週木曜日 19:00～20:30	2 3	氏家町役場
2	6月～10月 (16回) 毎週火曜日 18:30～20:00	3 1	南那須町農村改善センター
3	8月～11月 (15回) 毎週火曜日 18:30～20:00	2 5	鹿沼市立中央公民館
4	5月～9月 (16回) 毎週水曜日 18:30～20:00	2 6	真岡市公民館
5	9月～1月 (16回) 毎週月曜日 19:00～20:30	3 3	佐野市城北地区公民館



〔フランス語講座〕

（講 師）協会インタープリターバンク登録者 栗坪容子氏（平成元年度から）

（共 催）馬頭町国際交流会、馬頭町教育委員会（平成3年度）

年度	期 間	受講者数	会 場
元	8月～9月（8回） 毎週火曜日 19:00～20:30	16	協会研修室
2	6月～10月（16回） 毎週火曜日 19:00～20:30	23	協会研修室
3	7月～10月（16回） 毎週木曜日 19:00～20:30	13	馬頭町山村開発センター

〔スペイン語講座〕

（講 師）協会インタープリターバンク登録者 加納美和氏

年度	期 間	受講者数	会 場
4	6月～10月（16回） 毎週火曜日 18:30～20:00	23	協会研修室

〔ポルトガル語講座〕

（講 師）協会国際交流嘱託員 永田アンナ恵

年度	期 間	受講者数	会 場
4	6月～10月（16回） 毎週火曜日 18:30～20:00	23	協会研修室

将来を担う青少年を留学させ、地域の国際交流を推進するため、YFU日本協会及び財団法人自治体国際化協会と共同で、高校生（1名）を選考派遣した。

（平成3年度） 行木大輔くん（宇都宮高等学校） 派遣国：米 国

（平成4年度） 今井麻希子さん（宇都宮女子高等学校） 派遣国：米 国

（平成5年度） 西村麻実さん（宇都宮女子高等学校） 派遣国：カナダ

地域国際化協会連絡協議会が実施する海外研修に職員（1名）を派遣した。（平成3～6年度）

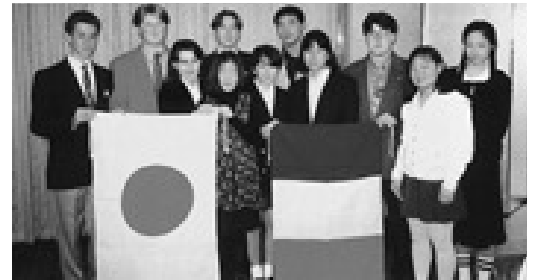
青少年国際交流員
海外留学派遣

職員海外研修

● 日仏青少年短期研修（実施委員会）

日仏青少年短期研修 （実施委員会）

栃木県の友好交流先であるフランス・ヴォークリューズ県と、青少年（高校生）の相互派遣を実施し、相互の理解と交流の拡大を図った。（平成5年度から）



年度	受入れ（期間、受入人数）		派遣（期間、派遣人数）	
5	10月20日～11月1日	6名	3月17日～28日	7名
6	10月26日～11月8日	6名	3月17日～30日	6名
7	10月16日～28日	5名	3月12日～25日	6名
8	10月28日～11月9日	6名	3月11日～24日	6名
9	10月27日～11月8日	6名	3月10日～23日	6名

（引率者 1名を含む）

翻訳 支援事業

● 翻訳支援

翻訳支援

栃木県が政府調達協定に基づく競争入札公告をする際の翻訳業務を行った。
(平成7年度から)

(平成7年度) 5件
(平成8年度) 12件
(平成9年度) 10件



国際交流 相談事業

●総合相談 ●法律相談 ●精神保健相談

総合相談

国際交流相談員、国際交流嘱託員を中心に、県民や在県外国人からの各種相談に応じるとともに、情報提供を行った。

■通常相談

(相談日時) 月曜日～金曜日 9:00～16:00
(対応言語) 日本語、英語、ポルトガル語

■定例相談 (平成5年度から)

(相談日時) 毎週火曜日 9:00～16:00
(対応言語) 日本語、英語、ポルトガル語、
中国語、スペイン語、
ペルシャ語

※平成10年度から通常相談は火曜日～土曜日に、
また定例相談は毎週土曜日に変更。



■外国人のための生活相談

北関東3県(栃木、茨城、群馬)の国際交流協会の共同事業として、同時期に開催した。(平成4年度)

(第1回) 10月4日(日) 10:00～15:00
相談件数 46件
(第2回) 11月22日(日) 10:00～15:00
相談件数 46件



法律相談

栃木県弁護士会の協力により、在県外国人を対象に法律相談を行った。(平成6年度から)

(平成6年度) 11月15日(火)
(平成7年度) 11月14日(火)
(平成8年度) 11月12日(火)
(平成9年度) 11月18日(火)
(対応言語) 日本語、英語、ポルトガル語、
中国語、スペイン語、
ペルシャ語など

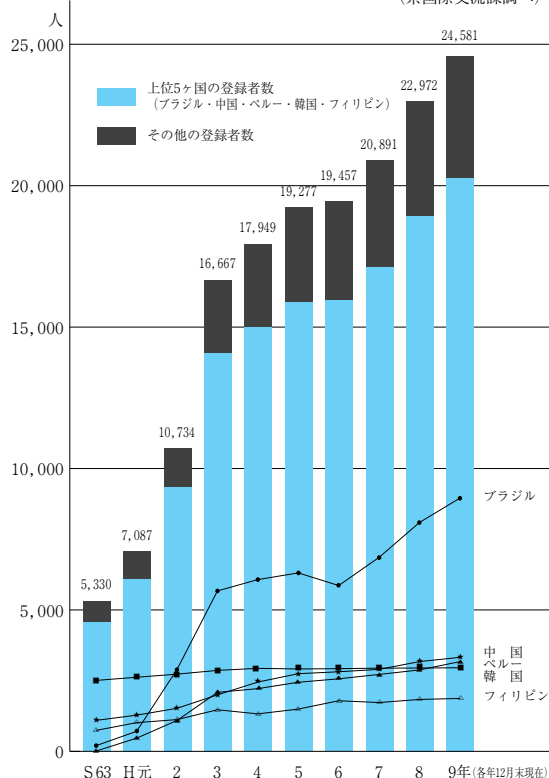
精神保健相談

栃木県精神保健福祉センターの協力により、在県外国人の精神保健に関する相談・カウンセリング等を行った。(平成7年度から)

(相談日時) 第1・3火曜日
13:30～16:00(予約制)
(対応言語) 日本語、英語、ポルトガル語、
中国語、スペイン語、ペルシャ語
など

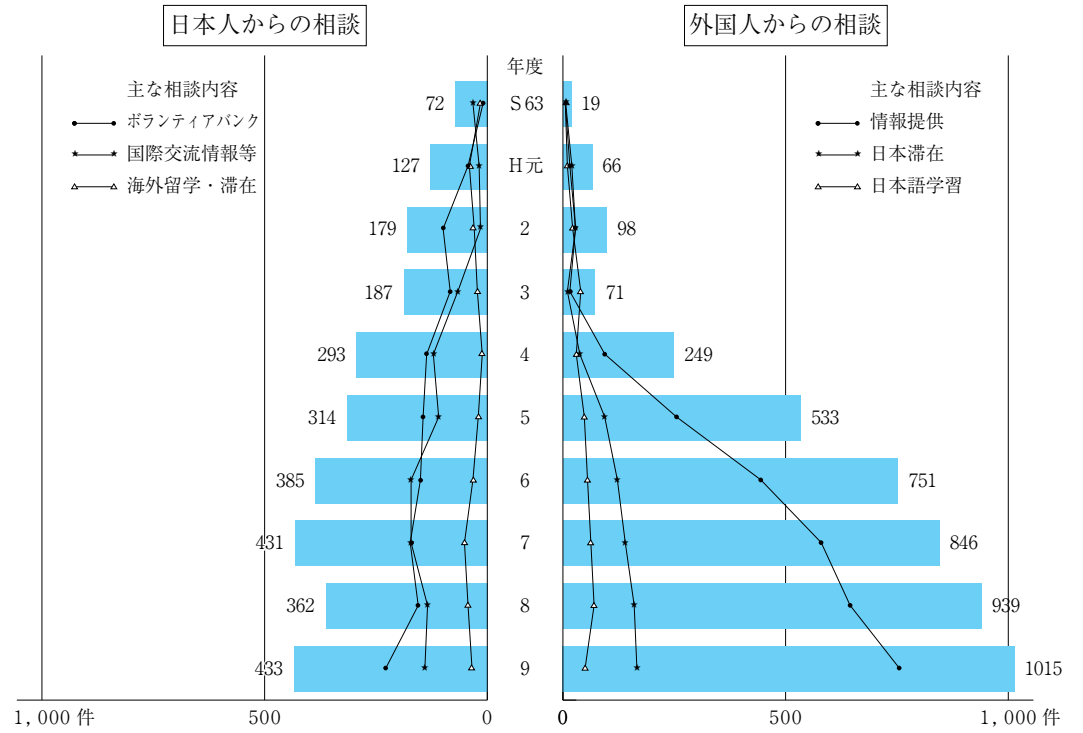
県内外国人登録者数の推移

(県国際交流課調べ)

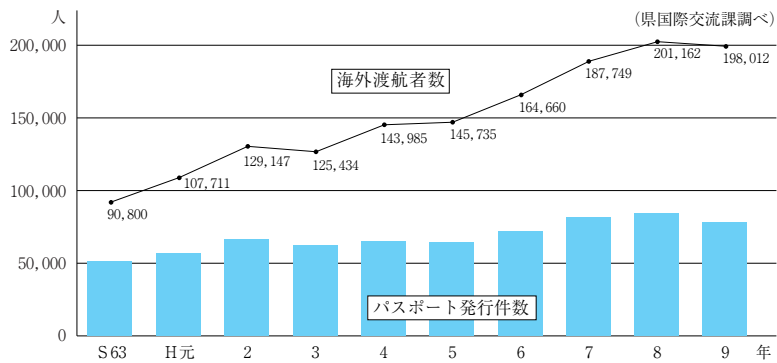




相談件数と主な相談内容の推移



栃木県の海外渡航者数とパスポート発行件数の推移



ボランティアバンク 運営事業

● ボランティアバンク運営 ● 国際交流ボランティア養成講座

ボランティア バンク運営

国際交流・国際協力活動のお手伝いをして
いただくボランティアバンクの募集、登録及
び紹介を行った。

■ インタープリターバンク

通訳や翻訳をしていただける方のバンク

■ ホームステイバンク

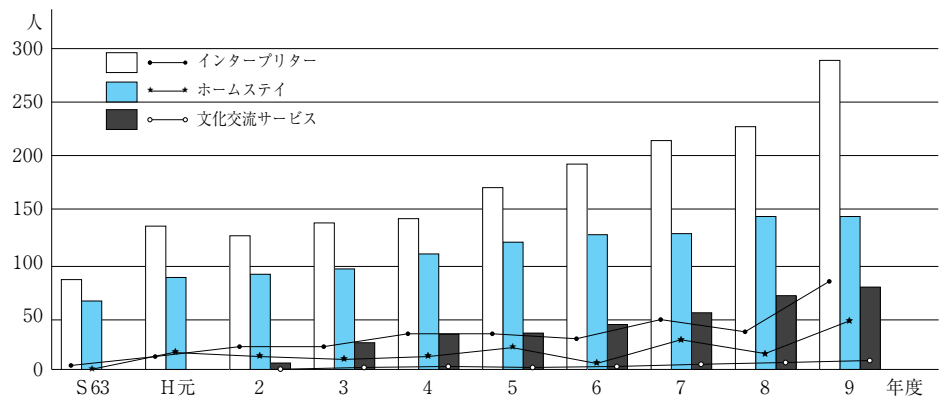
外国人の宿泊やホームビジットを受入れて
いただく方のバンク

■ 文化交流サービスバンク

趣味や特技を県民や外国人に紹介してい
たいただく方のバンク（平成2年度から）



ボランティアバンク登録者数と活用件数の推移



国際交流 ボランティア 養成講座

昭和63年度

(テーマ) ・地域における国際交流はどうあるべきか
・一人ひとりができる国際交流活動

(開催日) 平成元年2月14日～3月14日(2月28日を除く毎週火曜日/計4回)

(場 所) 栃木県自治会館(宇都宮市)

(講 師) 栃木県国際交流員 アンドリュー・カーク氏
協会国際交流相談員 高嶋仙子

(参加者) 延べ100名



海外移住者 援護事業

●南米日系人子弟留学生受入

南米日系人子弟 留学生受入

本県出身の南米移住者子弟の留学生を受入れ、大学等での学習や生活を支援するとともに、県内外での研修等を実施した。

(対象国) ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、ペルー
(留学期間) 2年以内



受入実績（年度別）

国 籍	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	
ブラジル	3	2	3	2	2	3	3	1	3	3	新規（1年目）
	2	3	2	1	2	2	2	3		1	継続（2年目）
パラグアイ				1							新規（1年目）
	1				1						継続（2年目）
ペルー		1			1			1			新規（1年目）
			1			1			1		継続（2年目）
計	6	6	6	4	6	6	5	5	4	4	

【昭和62～63年度】

氏 名	性別	国 籍	研修科目	留学機関
館野ルイザ明美	女	ブラジル	日本語教育	宇都宮大学教育学部
大泉ネリニ姿美	女	ブラジル	日本語教育	宇都宮大学教育学部
正岡 初美	女	パラグアイ	洋裁及びデザイン	宇都宮文化服装専門学校

【昭和63～平成元年度】

氏 名	性別	国 籍	研修科目	留学機関
田野辺 司	女	ブラジル	食品分析	宇都宮大学教育学部
青山レイラ雅枝	女	ブラジル	体操指導	宇都宮大学教育学部
峰下ジャネッチ洋子	女	ブラジル	歯科一般	自治医科大学歯科口腔外科、 東京医科歯科大学歯学部

【平成元～2年度】

氏 名	性別	国 籍	研修科目	留学機関
越雲エリーザ文枝	女	ブラジル	教育指導法	宇都宮大学教育学部
長沢シンチア由美	女	ブラジル	経営学	白鷗大学経営学部
笹川マリア	女	ペルー	食品分析	宇都宮大学教育学部

【平成2年度】

氏 名	性別	国 籍	研修科目	留学機関
赤羽ネルソン稔	男	ブラジル	植物栽培学、園芸学	宇都宮大学農学部
柳田ニュートン新一	男	ブラジル	経営学	作新学院大学経営学部

【平成2～3年度】

氏 名	性別	国 籍	研修科目	留学機関
大久保ローザ静香	女	ブラジル	エックス線、CTスキャン、磁気共鳴画像	自治医科大学放射線医学科

【平成3～4年度】

氏 名	性別	国 籍	研修科目	留学機関
渡部マリレナとし子	女	ブラジル	経営学	作新学院大学経営学部、白鷗大学経営学部
横田恵美クリスチナ	女	ブラジル	歯科学	自治医科大学口腔外科
松宮マリア・エレナ	女	パラグアイ	ビジネス情報処理	白鷗大学経営学部

【平成4～5年度】

氏名	性別	国籍	研修科目	留学機関
福田よしえオデッテ	女	ブラジル	歯科学	獨協医科大学口腔外科
原田エミリア・フェルナンデス	女	ブラジル	経営学	作新学院大学経営学部
池田マリア・クリスティナ	女	ペルー	口腔医学	自治医科大学口腔外科

【平成5年度】

氏名	性別	国籍	研修科目	留学機関
寺林 美奈	女	ブラジル	口腔外科	自治医科大学口腔外科

【平成5～6年度】

氏名	性別	国籍	研修科目	留学機関
久保田えりか	女	ブラジル	生産工学	足利工業大学経営工学科
武藤みどり	女	ブラジル	経営学	白鷗大学経営学部

【平成6～7年度】

氏名	性別	国籍	研修科目	留学機関
西山エリーザ恵子	女	ブラジル	情報工学	宇都宮大学工学研究科
大高淳子リナ	女	ブラジル	情報工学	宇都宮大学工学研究科
室井三枝子イザベル	女	ブラジル	心臓病	獨協医科大学第一内科

【平成7年度】

氏名	性別	国籍	研修科目	留学機関
西山ソニア	女	ブラジル	歯科学	自治医科大学口腔外科

【平成7～8年度】

氏名	性別	国籍	研修科目	留学機関
池田 緑ルシア	女	ペルー	経営学	白鷗大学経営学部

【平成8年度】

氏名	性別	国籍	研修科目	留学機関
池田カルラ・クリスティーナ	女	ブラジル	国際法	白鷗大学法学部
鶴崎ソフィア道香	女	ブラジル	歯科技工	栃木県衛生福祉大学校

【平成8～9年度】

氏名	性別	国籍	研修科目	留学機関
中見川めぐみ	女	ブラジル	情報工学	宇都宮大学工学部

【平成9～10年度】

氏名	性別	国籍	研修科目	留学機関
西山マルガレッテ小百合	女	ブラジル	国際法	白鷗大学法学部
藤本ファチマ重美	女	ブラジル	日本語教育	宇都宮大学国際学部
菅谷リリアン南美江	女	ブラジル	応用生物学	宇都宮大学農学部

海外農業移住者援護資金を借り受けた者に対し、利子補給を行った。(平成7年度まで)





在外県人会助成

在外栃木県人会に対し、運営費の助成や支援等を行った。

- 在伯栃木県人会 (1958年7月設立)
- 在アマゾン栃木県人会 (1967年4月設立)
- 在アルゼンチン栃木県人会 (1967年4月設立)
- 在パラグアイ栃木県人会 (1978年4月設立)
- 在ペルー栃木県人会 (1982年1月設立)
- 南加(南カリフォルニア)栃木県人会 (1992年3月設立)



高齢移住者 母県招待

ブラジルに移住した高齢者を本県に招待し、墓参、親族訪問、県内視察等を通して、高齢移住者を励ました。(平成3年度まで)

- (期間) 1か月程度
- (昭和63年度) 2名
- (平成元年度) 1名
- (平成2年度) 1名
- (平成3年度) 4名



南米移住者子弟 短期研修生受入

南米移住者の子弟(平成7年度まではブラジルのみ)を受入れ、日本の文化等についての視察、研修を行うとともに、本県高校生との交流等を実施した。(平成2年度から)

(研修期間) 1月～2月にかけて、約3週間程度



受入実績(年度別)

国 籍	2	3	4	5	6	7	8	9
ブラジル	10①	10①	10①	10①		5①	3①	3
パラグアイ							1	1①
ペルー							1	1
計	10①	10①	10①	10①	-	5①	5①	5①

①は引率者(1名)

●在栃木県人会女性訪問団受入

在栃木県人会 女性訪問団受入

中・高校生の子を持つ県人会の女性を受入れ、本県の教育事情等についての視察、研修を行うとともに、本県の中堅世代との交流事業等を実施した。(平成6年度)

(期 間) 4月4日～23日(20日間)

(受入者) 12名



国際協力 推進事業

●海外技術研修員受入

海外技術 研修員受入

開発途上国及び栃木県の友好交流先である中国浙江省から、技術研修員を受入れ、研修機関での技術研修、生活支援及び県内外での研修等を実施した。

(研修期間) 6月～翌年3月(10か月)



受入実績(年度別)

地域	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	計
アジア州	7	5	5	7	6	8	7	6	6	8	65
大洋州					1						1
アフリカ州	1	2	2	2	2	3	1	1	2	2	18
北米州		1	1		1			3	1		7
南米州	3	6	6	6	5	5	4	3	4	3	45
計	11	14	14	15	15	16	12	13	13	13	136

【昭和63年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
朱 振林	男	中国	苺等栽培技術	栃木県農業試験場栃木分場
金 水仙	女	中国	家畜飼育、肥料配合	栃木県畜産試験場
戚 行江	男	中国	果樹栽培、貯蔵技術	栃木県農業大学校
カルロス・ルディ・バラダ・ソレト	男	ポリビア	X線撮影	栃木県立がんセンター
デレジェ・ブルック・ガブレメドゥハン	男	エチオピア	農業作物	栃木県農業試験場
ブラシット・インチャン	男	タイ	印刷技術	朝陽堂印刷興業(株)
ロズリン・バロイ	女	バングラデシュ	看護学	獨協医科大学附属病院
カトイガラダ・マドゥランガニ・ベレラ	女	スリランカ	幼稚園教育	アルス幼稚園
篠崎ジョルジ	男	ブラジル	コンピューター	栃木県工業技術センター
鶴崎カロリーナ澄香	女	ブラジル	美容技術	オカベ美容室
カリーナ・カーロス・ボンゾン	女	フィリピン	テクスタイルデザイン	栃木県繊維工業試験場

【平成元年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
高橋ナンシー葉子	女	ブラジル	工業デザイン	(株)松井ピ・テ・オ・印刷
篠田リカルド	男	ブラジル	電子技術	栃木県工業技術センター
菊地武善	男	ブラジル	畜産	栃木県酪農試験場
早瀬桂樹	男	ブラジル	農業機械	栃木県農業大学校
江連紀文	男	パラグアイ(アルゼンチン駐在)	醸造	栃木県食品工業指導所
カンバン・ブーンディ	男	タイ	電子機器	小島電機(株)上三川店
クリスタベル・サーワ・ダーキイ	女	ガーナ	看護学	獨協医科大学附属病院
クラウディオ・クレメンテ・ママン・チョケ	男	ポリビア	工作機械	栃木県今市高等産業技術学校
レオナルド・ウィリアム・ベンヂラ	男	タンザニア	自動車整備	栃木ゼーゼル(株)
モアスト・エディルベルト・エラソ・バルダレス	男	ホンジュラス	電子機器	栃木県宇都宮高等産業技術学校
商 克紹	男	中国	種鶏・種豚育種防疫	栃木県畜産試験場
方 建平	男	中国	果樹育種栽培	栃木県農業試験場
曹 欣	男	中国	大麦育種、組織培養	栃木県農業試験場栃木分場
汪 如亨	男	中国	日本語、日本史、日本文学	栃木県立宇都宮北高等学校

海外技術研修員受入

【平成2年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
エドガル・メンデス・タテイシ	男	ボリビア	臨床検査	栃木県立がんセンター
ガブリエラ・バジェホス・レイス	女	パラグアイ	栄養改善指導方法	栃木県宇都宮保健所
土屋剛一エンリー	男	ブラジル	電子機器(カラーテレビ・ビデオ)修理技術	栃木県宇都宮高等産業技術学校、小島電機(株)三川店
フランシス・テテ・サバ	男	ガーナ	自動車整備技術	栃木県氏家高等産業技術学校、栃木トヨタ自動車(株)
吉田高男ネルソン	男	ブラジル	花卉栽培技術	栃木県農業試験場
室井健二ジョージ	男	ブラジル	肉用牛の飼養管理技術	栃木県畜産試験場
峰下興司ロベルト	男	ブラジル	落葉果樹栽培技術	栃木県農業試験場、佐野市農業協同組合
徐 剛	男	中国	植物組織、培養技術	栃木県農業試験場
ジョージ・カマウ・キバキ	男	ケニア	農業機械	栃木県農業大学校
俞 建軍	男	中国	きのこ栽培育種	栃木県林業センター
虞 洪波	男	中国	林業技術	栃木県林業センター
関口清水ジョージ	男	メキシコ	企業会計、コンピューターシステム	(株)TKC
プンリアン・セーンパラジャン	女	タイ	コンピューター技術	栃木県教育研修センター、栃木県企画部情報管理課
張 冰	女	中国	日本文学、日本風俗、日本語	栃木県立宇都宮北高等学校

【平成3年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ロサン・クマール・アマーテ	男	ネパール	金属加工技術	栃木県工業技術センター、栃木県宇都宮高等産業技術学校
アブダラ・ムイタ・ハジ	男	タンザニア	自動車整備	栃木県氏家高等産業技術学校
オマリ・イディムシャーナ	男	タンザニア	陶磁器	(株)つかもと、栃木県窯業指導所
アランカラゲ・スリヤニ・グナラットナ	女	スリランカ	婦人子供服	宇都宮文化服装専門学校、(株)パソ科学生産システム宇都宮工場
ペドロ・レネ・サントデル	男	パラグアイ	家畜飼育	栃木県畜産試験場
ガンガ・ラム・ブラダン	男	ネパール	水産土木	栃木県水産試験場、宇都宮測量(株)
中内カズエ	女	ブラジル	臨床検査	獨協医科大学附属病院
大類サンドラ真知子	女	ブラジル	PR	(株)松井ピ・テ・オ・印刷
沢口千晴ナンシー	女	ブラジル	コンピューター	栃木県企画部情報管理課
大根田 孝	男	ブラジル	弱電気	栃木県宇都宮高等産業技術学校
菊地広善ワルテール	男	ブラジル	電気修理	小島電機(株)
楊 煜峰	男	中国	大麦栽培	栃木県農業試験場栃木分場
勞 利忠	男	中国	家電測定	松下電器産業(株)テレビ事業部宇都宮工場
童 振華	男	中国	精神医療	栃木県立岡本台病院、獨協医科大学附属病院
陳 丹	女	中国	日本語	栃木県立宇都宮北高等学校

【平成4年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ドナルド・カルカモ	男	ホンジュラス	教育(算数教育)	栃木県総合教育センター
ローレンス・オディアンボ・アヨオ	男	ケニア	自動車整備	栃木県氏家高等産業技術学校
ユーロヒオ・バスクア・オデロン JR	男	フィリピン	電気修理	(株)コジマ
ボナベンチュウラー・アマニ	男	タンザニア	電話線路	日本電信電話(株)宇都宮支店
ロンラット・ジャルーンサップ	女	タイ	陶磁器	栃木県窯業指導所
ビー・エイ・ウィリー	男	西サモア	自動車整備	栃木デーゼル(株)、栃木トヨタ自動車(株)
館野アルベルト	男	ブラジル	花き栽培	栃木県農業試験場、菱沼園芸
吉田ロザーナ敦子	女	ブラジル	デザイン	宇都宮デザイン電子専門学校、(有)アトリエ・テン
池田マルガレッタ	女	ブラジル	広告、宣伝	(株)松井ピ・テ・オ・印刷
土屋瑞美ルシアーナ	女	ブラジル	整髪及び美容技術	(有)ヒロ美容室
神立守之アルネスト	男	ブラジル	家畜飼育	栃木県畜産試験場
俞 頌東	男	中国	家畜人工受精	栃木県酪農試験場
翁 景清	男	中国	防疫技術	栃木県衛生研究所
姜 海軍	男	中国	土地改良	栃木県農務部土地改良課
劉 魯群	男	中国	日本語及び日本文化	栃木県立宇都宮北高等学校、栃木県立博物館



【平成5年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
アサファ・アレマエフ・ジェメダ	男	エチオピア	下水道	栃木県下水道管理事務所
エルナタン・キプリモ・チュマ	男	ケニア	道路設計	栃木県宇都宮土木事務所
アリス・パトリカ・バスナヤケ	女	マレーシア	養護（障害児教育）	栃木県身体障害医療福祉センター
ガヤ・ナンダ・サルマ	男	ネパール	視聴覚教育	栃木県総合教育センター
リラ・プラサッド・パンゲニ	男	ネパール	野菜栽培	栃木県農業試験場
ラロ・マウロ・ラウラ・ヤナ	男	ボリビア	柔道	作新学院高等部
ゴータ・ディメトリウス・ゴータ	男	タンザニア	家畜飼育	栃木県酪農試験場
中尾義春トマス	男	ブラジル	鉄道車両	富士重工業(株)宇都宮車両工場
田口妙子レチシア	女	ブラジル	小児医療	獨協医科大学附属病院
牛沢達八マルセロ	男	ブラジル	製品管理	松下電器産業(株)テレビ事業部宇都宮工場
佐々木孝治エルシオ	男	ブラジル	コンピューター	栃木県企画部情報管理課
宋 吉華	男	中国	鍍金処理	加治金属工業(株)
施 永勝	男	中国	コンピューター	(株)松井ピ・テ・オ・印刷
何 志華	男	中国	森林保護	栃木県林業センター
何 中輝	男	中国	土地改良	栃木県農務部土地改良課
董 福平	男	中国	河川管理	栃木県土木部河川課

【平成6年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ブンラップ・ルアンラース	男	ラオス	診療放射線	栃木県立がんセンター
ハリー・バカタ・グルン	男	ネパール	土木設計	栃木県土木部河川課
クリシュナ・プラサード・ドゥワール	男	ネパール	自動車整備	関東自動車整備(株)
マルセロ・サンチャゴ・レクト	男	フィリピン	電子機器	栃木県宇都宮高等産業技術学校、(株)コジマ
ドミニク・オウアー・オドゥンド	男	ケニア	自動車整備	(有)吉田自動車整備工場
ファビアーノ・セスベデス	男	パラグアイ	飼料作物	栃木県酪農試験場
溝江リサ静	女	ブラジル	建築設計	(株)熊倉敬次建築設計事務所、(株)フケタ設計
岡田サンドラかおり	女	ブラジル	流通管理	(株)エーリスウエノ
高橋ヴィトル健治	男	ブラジル	口腔外科	自治医科大学
張 文戈	男	中国	工作機械、経営管理	キャノン(株)宇都宮工場
莫 林方	男	中国	米作	栃木県農業試験場
尚 孟安	男	中国	養蚕	栃木県蚕業センター

【平成7年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ロベルト・エフライン・デル・バルコエスコバル	男	ボリビア	理科教育	栃木県総合教育センター
ジオバニー・エルナンデス・ヒメネス	男	コスタリカ	電子機器	栃木県宇都宮高等産業技術学校、(株)コジマ
マヤー・シャー	女	ネパール	織物	栃木県繊維工業試験場
タントリー・プロボララス	女	インドネシア	家畜疾病診断	栃木県家畜衛生研究所
イバン・エドゥアルド・アレハンドロ・ビネグ・バジャダレス	男	ホンジュラス	電話交換機	日本電信電話(株)栃木支店
パトリック・チャーマ	男	ザンビア	自動車整備	(有)吉田自動車整備工場
永田エリアス宣	男	ブラジル	電気設備設計	(株)関電工栃木支店
関口清水アレハンドロ	男	メキシコ	銀行業務	(株)足利銀行
笹川 静	女	ペルー	食品加工	栃木県食品工業指導所
潘 亞梁	男	中国	腫瘍外科	栃木県立がんセンター
包 煥盛	男	中国	養蚕	栃木県蚕業センター
華 偉南	男	中国	河川管理、河川工事	栃木県土木部河川課
倪 憲漢	男	中国	水資源管理、水道給水企画	栃木県企業庁鬼怒水道事務所、栃木県企画部資源対策課

●海外技術研修員受入●青年海外協力隊活動促進

【平成8年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
カルマ・ツェリン	男	ブータン	臨床検査	(有)栃木県保健衛生事業団
リディア・エレナ・ゴイリ・ハラ	女	パラグアイ	心理判定(教育分野)	栃木県中央児童相談所
アチュッタ・クマール・ドゥンゲル	男	ネパール	家畜飼育	栃木県畜産試験場
ベンジャミン・キピエゴ	男	ケニア	自動車整備	(有)吉田自動車整備工場
レスフォード・アサー・パーシー・カンジャラ	男	マラウイ	獣医学	栃木県西那須野家畜保健衛生所
フアン・アントニオ・ベンコス・ロドリゲス	男	ドミニカ共和国	植林	栃木県林業センター
久保田クリスチーナさおり	女	ブラジル	ビジュアルコミュニケーションデザイン	(株)松井ビ・テ・オ・印刷
柴田レネー	男	ブラジル	貿易業務	レオン自動機(株)
室井和子	女	ブラジル	口腔外科	獨協医科大学附属病院
張 福健	男	中国	環境管理	栃木県生活環境部環境管理課
陳 魯軍	男	中国	蔬菜栽培学	栃木県農業試験場
黄 春華	男	中国	食品加工	滝沢ハム(株)
謝 文	男	中国	ホテルマネージメント	(株)陽南荘(宇都宮グランドホテル)

【平成9年度】

氏名	性別	国籍	研修内容	研修機関
ポー・グアン・テック	男	マレーシア	作業療法	栃木県身体障害医療福祉センター
ハミス・サレ・ハミス	男	タンザニア	自動車整備	(有)吉田自動車整備工場
サンデル・バラスケス・ロドリゲス	男	ボリビア	自動車整備	日産自動車整備専門学校
ハズリ・ゾラ	女	モロッコ	婦人子供服	(株)シンガー日鋼、(株)マルサ
スィラポディー・トーンシーチャン	男	タイ	農業協同組合	小山市農業協同組合
スフィア・ベゴム	女	バングラデシュ	電子機器	(株)コジマ
ヴィラベッド・シーサノン	女	ラオス	手術室看護	恩賜財団済生会宇都宮病院
竹田テニソン武夫	男	ブラジル	映像技術	(株)松井ビ・テ・オ・印刷
飯塚ファビオ清	男	ブラジル	経営管理	(株)コスモス(イタリアントマト)
方 威	男	中国	小児科	自治医科大学附属病院
徐 雲濤	男	中国	道路行政	栃木県土木部道路建設課
葛 永明	男	中国	農業政策	栃木県農務部農政課
鄭 華章	男	中国	野菜栽培	栃木県農業試験場

国際協力事業団が実施している青年海外協力隊員の募集・啓発活動及び帰国隊員の活動に対する助成を行った。



青年海外協力隊
活動促進

友好 交流事業

● 友好交流

友好交流

栃木県の友好交流先である中国浙江省及びフランス・ヴォークリューズ県を中心に、栃木県から委託を受けるなどして、訪問団の派遣、受入れを行った。

昭和63年度

〔受入〕

- 浙江省友好考察団
- 浙江省対外経済貿易庁代表団
- 浙江省市長代表団

平成元年度

〔派遣〕

- 栃木県海外移住者激励訪問団
在伯栃木県人会創立30周年記念式典への出席及び海外移住した本県出身者の激励のため、県内各界各層の代表者を派遣した。
(期 間) 10月25日～11月9日(16日間)
(派遣先) ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、アメリカ(ハワイ)
(派遣人員) 20名



〔受入〕

- 浙江省教育考察団
- ヴォークリューズ県関係者
- 浙江省友好代表団
- 浙江省友好考察団
- ヴォークリューズ県議会議長
- 浙江省蚕糸総合考察団
- ヴォークリューズ県議会副議長
- 浙江省定期協議団

平成2年度

〔受入〕

- ブラジル国日系人ふるさと創生事業
ブラジルと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、本県関係者を受入れた。
(期 間) 11月9日～11月15日(7日間)
(受入者) 4名



- 米国青年政治指導者訪日代表団
- 浙江省ラジオ・テレビ訪日団
- 浙江省技術経済調査団
- ヴォークリューズ県議会議長
- 浙江省外事弁公室趙嘉福主任一行

● 友好交流

平成3年度

〔受入〕

○中国地域リーダーふるさと創生事業
中国と日本の友好交流を促進する事業の
地方交流事業として、浙江省の青年を受入
れた。

(期 間) 12月5日～11日 (7日間)

(受入者) 5名

- 浙江省水利調査団
- 浙江省農業技術調査団
- ヴォークリュース県議会関係者
- 浙江省衛生代表団
- 浙江省友好協議視察団



平成4年度

〔派遣〕

○メキシコ栃木国際週間訪問団(実施委員会)
「メキシコ栃木国際週間」において、流鏝
馬、コーラス、日本舞踊、和太鼓等を披露す
るため、県内関係者等を派遣した。

(期 間) 平成5年3月15日～24日 (10日間)

(派遣先) メキシコ

(派遣人員) 110名



〔受入〕

○ロシア極東地域との交流を通じたふるさと創生事業

ロシアと日本の友好交流を促進する事業の
地方交流事業として、ロシア極東地域の自治
体関係者等を受入れた。

(期 間) 9月29日～10月2日 (4日間)

(受入者) 3名

- ヴォークリュース県議会関係者等
- 浙江省経済視察団
- 浙江省林業視察団
- 浙江省定期協議団
- 浙江省政府代表団
- 浙江省友好代表団





平成5年度

〔派遣〕

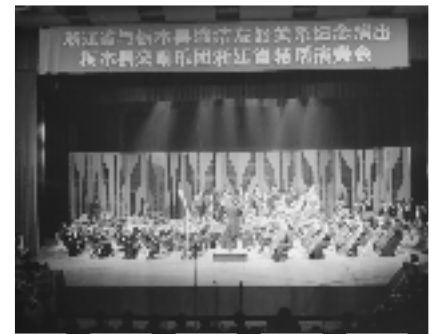
- 栃木県海外移住者激励訪問団
在伯栃木県人会創立35周年記念式典への出席及び海外移住した本県出身者の激励のため、県内各界各層の代表者を派遣した。
(期 間) 10月20日～11月4日(16日間)
(派遣先) ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、アメリカ(ハワイ)
(派遣人員) 15名



- 栃木県友好訪問団(実施委員会)
中国浙江省で開催された「浙江省友好都市交歓会」で、郷土芸能等を披露した。
(期 間) 11月3日～7日(5日間)
(派遣先) 中国浙江省杭州市
(派遣人員) 12名



- 栃木県交響楽団浙江省公演友好使節団(実行委員会)
栃木県と中国浙江省との友好協定締結5周年を記念して、栃木県交響楽団の演奏会を開催した。
(期 間) 平成6年1月2日～7日(6日間)
(派遣先) 中国浙江省杭州市、紹興市
(派遣人員) 132名



〔受入〕

- 浙江省企業友好訪問団
- 浙江省友好訪問団
- ヴォークリューズ県ホストファミリー
- 浙江省農業技術調査団
- 浙江省政府友好訪問団
- ヴォークリューズ県大学生
- 栃木県・浙江省友好提携記念レセプション開催
- 浙江省林業代表団

● 友好交流

平成6年度

【受入】

○インドネシアとの交流を通じたふるさとづくり事業

インドネシアと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、自治体関係者等を受入れた。

(期 間) 10月4日～7日(4日間)

(受入者) 10名

○浙江省企業代表団

○ヴォークリューズ県ホストファミリー

○浙江鴻達投資環境説明組

○ヴォークリューズ県大学生

○浙江省対外交流友好代表団



平成7年度

【派遣】

○US-JAPAN EXPO'95参加
米国ロサンゼルス市で開催された「ジャパンエキスポ」で伝統工芸等を披露した。

(期 間) 10月11日～19日(9日間)

(派遣先) 米国ロサンゼルス市

(派遣人員) 7名



【受入】

○フランス民族芸能団体招へい

「第10回国民文化祭とちぎ95」に参加するフランス・ヴォークリューズ県の民族舞踊団「フルー・ドゥ・ロズ」を受入れた。

(期 間) 10月24日～11月1日(9日間)

(受入者) 16名



○中国民族芸能団体招へい

「第10回国民文化祭とちぎ95」に参加する中国浙江省の「浙江雑技芸術団」を受入れた。

(期 間) 10月25日～11月1日(8日間)

(受入者) 15名



○ヴォークリューズ県ホストファミリー

○浙江省林業訪問視察団

○ヴォークリューズ県大学生

○ヴォークリューズ県議会

○浙江省政府代表団

○浙江省国際交流担当者訪問団

○浙江省農業科学院訪日代表団



平成8年度

〔受入〕

○ミャンマーとの交流を通じたふるさとづくり事業

ミャンマーと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、民間人等を受入れた。

(期 間) 9月10日～13日 (4日間)

(受入者) 9名



○ブラジル日系人との交流を通じたふるさとづくり事業

ブラジルと日本の友好交流を促進する事業の地方交流事業として、青年リーダーを受入れた。

(期 間) 11月27日～12月3日 (7日間)

(受入者) 9名



○浙江省教育訪日団

○ヴォークリューズ県ホストファミリー

○ヴォークリューズ県大学生

○浙江省定期協議団

平成9年度

〔派遣〕

○栃木浙江友好会館「杜鵑楼」^{とけんろう}竣工記念県民訪中団 (実施委員会)

栃木県と中国浙江省との交流拠点として建設された栃木浙江友好会館の竣工式典に県民を派遣した。

(期 間) 11月25日～30日 (6日間)

(派遣先) 中国浙江省杭州市ほか

(派遣人員) 90名



〔受入〕

○ヴォークリューズ県ホストファミリー

○ヴォークリューズ県大学生

○浙江省林業考察団

○浙江省公務員考察団

○浙江省定期協議団

留学生 支援事業

●留学生支援

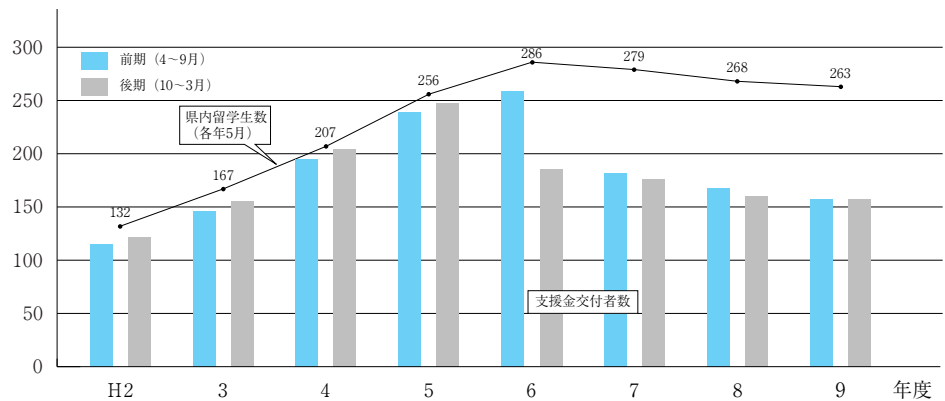
留学生支援

県内の高等教育機関（大学・高等専門学校）で学ぶ外国人留学生在が、充実した留学生活を送ることができるように、図書教材費相当の支援金を交付するとともに、新規留学生の歓迎会等を実施した。（平成2年度から）



県内高等教育機関の留学生数と支援金交付者数の推移

（留学生数/栃木県地域留学生交流推進協議会調べ）



その他の 事業

●日本国際連合協会栃木県本部事務 ●関連団体事務

日本国際連合協会 栃木県本部事務

国際理解・国際協力のための中学生作文コンテスト、高校生の主張コンクール、国連英語検定試験等を実施し、国連思想の普及に努めた。(平成2年度から)



関連団体事務

当協会の事業と密接な関係を持つ団体の事務局を預かり、効果的な事業展開を図った。

■栃木県海外移住家族会事務

南米日系人子弟留学生・海外技術研修員歓迎会、南米移住者子弟短期研修生の受入協力、財団法人栃木県国際交流協会事業への協力等を行った。



■栃木県青年海外協力隊OB会事務

海外技術研修員歓迎会・送別会、青年海外協力隊派遣隊員家族懇談会、帰国隊員報告会等を行った。



■栃木県JICA専門家連絡会事務

講演会等への講師派遣、会報誌の発行、財団法人栃木県国際交流協会事業への協力等を行った。(平成8年度から)



財団法人 栃木県国際交流協会 1988-1998
TOCHIGI INTERNATIONAL ASSOCIATION 10周年

10年のあゆみ

平成11年3月発行

発行／財団法人栃木県国際交流協会
〒320-0033 栃木県宇都宮市本町9番14号
とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 FAX 028-621-0951
印刷／株式会社松井ピ・テ・オ・印刷

